

快適商空間の創造



吉増 晟(よします あきら)
富士電機リテイルシステムズ株式会社
取締役社長

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

富士電機リテイルシステムズ株式会社は「快適商空間を創造し、お客様に最大の満足を提供する企業」を目指して自動販売機関連、フードサービス機器関連、コールドチェーン関連、通貨処理機器関連の事業を進めています。

それぞれの事業で市場環境は異なりますが、共通して「コスト力、高品質力、高サービス力」が勝ち残りの必須条件と信じ社員一同、励んでいるところです。以下、事業ごとに近況と本年の抱負を述べたいと思います。

まず自動販売機ですが、当社売上げの55%を占める重要な事業である一方で、市場は飽和状態にあり、数年来、前年割れが続いています。そんな中、われわれは顧客にとっての重要な小売り手段としての役割をより強化し、市場の維持拡大を図るべく多くの課題解決に取り組んでいます。具体的にはデザインやディスプレイの改良による集客力の向上、新容器への対応、使い勝手の向上やIT技術の活用による運営経費削減、一層の高信頼化、コストダウンなどです。また近年の環境問題に関しても省エネルギーはもちろん、ノンフロン化、有害物質の削減、製品の軽量化など多面的に技術開発を進め成果を上げているところです。

また事業のグローバル化の一つとして、オリンピックや万博を控え大きい市場に発展する可能性を持つ中国に対し自動販売機の生産会社や運営会社を設立しました。国内飲料会社にもご活用いただき、一緒に成長させていただければと期待しています。

次はフードサービス機器事業についてです。女性の社会進出や労働形態の多様化を反映して外食産業が成長中ですが、そこで使っていただける機材の充実を急いでいます。

昨年はスーパサーバの販売を開始しました。本年もレストラン、ファストフード店、居酒屋などで使っていただける機材を開発したいと思います。

次はコールドチェーン事業についてです。当社はスーパーマーケット、コンビニエンスストアを顧客として長年、事業をしていますが、昨今の活発なM & Aや業態変化は過去には経験のない速度で進んでいます。これに対応するため当社は、この数年来、STPP(ストア・トータル・プラン・プロデューサー)企業を目指し店舗の設計、施工から内装、機材、保守サービスに至るすべてを考慮したうえでのトータルコストダウンを提案できるよう努めてきました。昨年もエコロユニット、R-Cubeなどはコンセプトが理解され実績を上げることができました。今年は、これらを機能面でも進化させるつもりです。もちろん基本となるショーケース機器も省エネルギー、品温性能や展示性を向上させたものを初夏には出荷しラインアップを完成させたいと考えます。

次に通貨機器関連事業についてです。この分野では、非接触ICカードや小売店舗向けの自動つり銭機に注力し多くの実績を残すことができました。本年も伸長を期待し品ぞろえを強化する計画です。また、新紙幣発行に対し昨年は対応新製品の開発に注力しました。今年は市場機の改修が正念場を迎えますが全力を挙げて対応していきます。

以上、事業ごとに近況と抱負を述べさせていただきました。今後とも「コスト力、高品質力、高サービス力」に磨きをかけ、お客様の期待に応えられる会社を目指します。本年も宜しくお願い致します。ありがとうございました。